

Takara standard

**資材価格の高騰による商品価格改定について
2022年4月25日受注分より**

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、一部商品のメーカー希望小売価格を、2022年4月25日受注分より改定します

弊社では各種資材価格の高騰が続く中、全社をあげて製品原価の上昇抑制に取り組んでまいりました。しかしながら、資材価格の上昇は依然として続いており、企業努力だけでは対応困難な状況となっております。つきましては、このような厳しい環境の下、弊社商品価格を下記の通り改定させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

1. 対象商品と改定率

対象商品	改定率
システムキッチン<レミュー, トレーシア, エーデル, リフィット, アピスカ>	2~4%程度
カンタン取替キッチン<エマーユ/アーバス/ロイヤル/P型フラット> キッチンセット<エマーユ/アーバス/ロイヤル/P型>	2~9%程度
ミニキッチン KUW 型、PJ 型、ライフサポート商品<ミニキッチン、洗面>	1%程度
レンジフード各機種	4~9%程度
洗面化粧台<エリーナ, ファミーユ, オンディーヌ, リジャスト, ウィット>	3~7%程度
単体浴槽<鋳物, ステンレス>	4~9%程度
電気温水器全機種	9%程度
ホーロークリーンパネル（キッチン、洗面、トイレ） ホーロー内装材エマウォールインテリアタイプ	5~8%程度

2. 実施時期

2022年4月25日 ご注文分より

3. 本件に関するお問合せ

最寄りの弊社支社、支店、営業所までお問合せ下さい

今後も、引き続き様々な合理化を推進し、今まで以上に新製品開発及びサービス向上を推進していく所存でございます。誠に不本意ではございますが、商品価格の改定にご理解賜るとともに、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

<タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

【設立：1912年5月30日（創業109年） / 売上高（連結）1,921億円（2020年度） / 従業員数（連結）6,278名】